fusion_place cloud 8.0 移行ガイド

第 1.1 版

2019 年 01 月 28 日

株式会社フュージョンズ

管理者向けガイド

「fusion_place 実行環境」の配布

fusion_place 実行環境は、そのインストーラをクライアント PC 上で実行することによりインストールできます。

1. fusion_place 実行環境インストーラの配布

インストーラは、fusion_place メニュー画面からダウンロードできます。メニュー画面を一般ユーザーに開放していない場合には、以下のような方法により配布可能です：

URL を直接指定してダウンロードする

URL は、メニュー上で「fusion_place 実行環境 ダウンロード」ボタンにカーソルを置けば、画面左下に表示されます。クラウドご利用の場合、以下のようになります：

https://xxxNN-xxxxxxxx.fusionplace.net/lib/fusion_place-runtime-environment-1.0.0-64.msi

xxxNN-xxxxxxxx：契約管理番号で置換ください

この URL を各ユーザーにメールでご案内頂くか、社内ポータル等にそのリンクを置けば、各ユーザーはそれをダブルクリックして fusion_place 実行環境をインストール可能です。

インストーラファイル（MSI ファイル）をネットワーク上の共有フォルダに置く。

上記の URL からダウンロードしたインストーラファイル（MSI ファイル）を社内の共有フォルダに置いて、エンドユーザーが利用できるようにすることも可能です。

2. 32-bit 版インストーラの入手

ここまでご説明した手順でダウンロードできる fusion_place 実行環境インストーラは、64-bit Windows に対応したものです。32-bit Windows をご利用の場合、32-bit 版のインストーラが必要です。

この場合は、管理者の方からフュージョンズのサポート窓口（support@fusions.co.jp）にご依頼をお願いします。

社内ポータルなどからのリンク先 URL の変更

ブラウザ、コントリビュータなどの fusion_place クライアントの URL を社内ポータル等に掲示して、ユーザーがそれらを使用できるようにされている場合、URL の末尾を「.jnlp」から、「.fplp」に変更お願いします。

これは、fusion_place 8.0 で、クライアントを起動するプログラムが、「Java 実行環境」から「fusion_place 実行環境」に変更されたためです。

リクエスタに関する移行

リクエスタを実行する PC では、これまで通り Java 実行環境が必要です。従来と同じバージョンのリクエスタを使用する場合、当該リクエスタの実行には、従来と同じ Java 実行環境を使用できます。このため、移行作業は不要です。

一方、リクエスタも 8.0 系列に切り換える場合、Java 実行環境を Java 11 に切り換える必要があります。この場合、Java 11 を別途インストールして頂いても構いませんが、fusion_place 実行環境に内包された Java 実行環境をご利用頂くことも可能です。

具体的には。fusion_place 実行環境をインストールすると、以下のパス指定で java.exe を使用できます。

%LocalAppData%¥Programs¥fusion_place¥fusion_place runtime environment (**xx**-bit)¥jre**xx**¥bin¥java.exe

xx　…　fusion_place 実行環境のビット数(64 または 32）で置換ください。
置換箇所が二か所ありますのでご注意ください）

%LocalAppData%　… 実行時に、適切なフォルダ名で置換されます。

fusion_place 実行環境は Windows ユーザーごとにインストールされますので、同実行環境に含まれる Java を使用する場合には、同実行環境をインストールした Windows ユーザーで、Windows にログインしておく必要があります。

ユーザー向けガイド（サンプル）

「fusion_place 実行環境」のインストール方法

fusion_place 実行環境は、fusion_place 8.0 以降を使用する際に必要な基盤ソフトウェアです。同実行環境のインストーラを入手し、実行して下さい。

1. fusion_place 実行環境インストーラの入手

（管理者向けガイドをご参考に、貴社での実行環境インストーラ配布方法を決定し、
それを踏まえてご記述下さい）

2. fusion_place 実行環境インストーラの実行

fusion_place 実行環境インストーラは「fusion_place-runtime-environment-1.0.0-64.msi」というファイルです。このファイルをダブルクリックするとインストールの進捗を示す画面が表示され、すぐに消えます。これで、インストールは終了です。

以前に fusion_place 実行環境をインストール済の PC では、それをアンストールしてから、新しい fusion_place 実行環境をインストールして下さい。

アンインストールするには、[コントロールパネル＞プログラムのアンインストール]で表示される一覧上で、「fusion_place-runtime-environment n.n.n(xx-bit)」というプログラムの行を選択し、右クリックで表示されるメニュー（下図）から、「アンインストール(U)」をご実行下さい。



画面 DPI の調整方法

Windows Surface などで Windows 10 をご使用の場合、fusion_place の画面の文字が小さくなりすぎる場合があります。こうした場合、7.0 以前と同様、8.0 でも表示を調整することができますが、
調整のための「プロパティ」画面を立ち上げる方法が若干異なります。

① fusion_place クライアントを起動

起動するのは、マネージャ、ブラウザ、コントリビュータのいずれでも構いません。

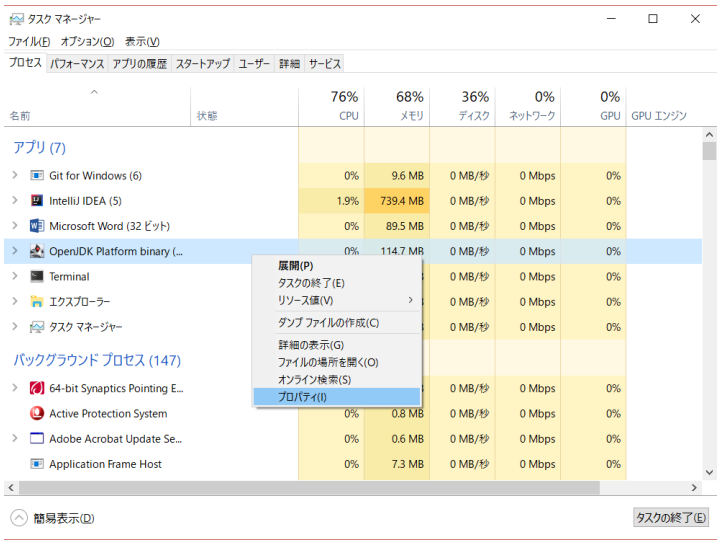
② タスクマネージャーを起動

「Ctrl+Shift+ESC」同時押下でタスクマネージャーが起動されます。

→タスクマネージャーの「プロセス」タブが表示されます。

③ OpenJDK のプロパティ画面を開く

「プロセス」タブのプロセス一覧上で「OpenJDK Platform binary …」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ(I)」を選びます（下図）。

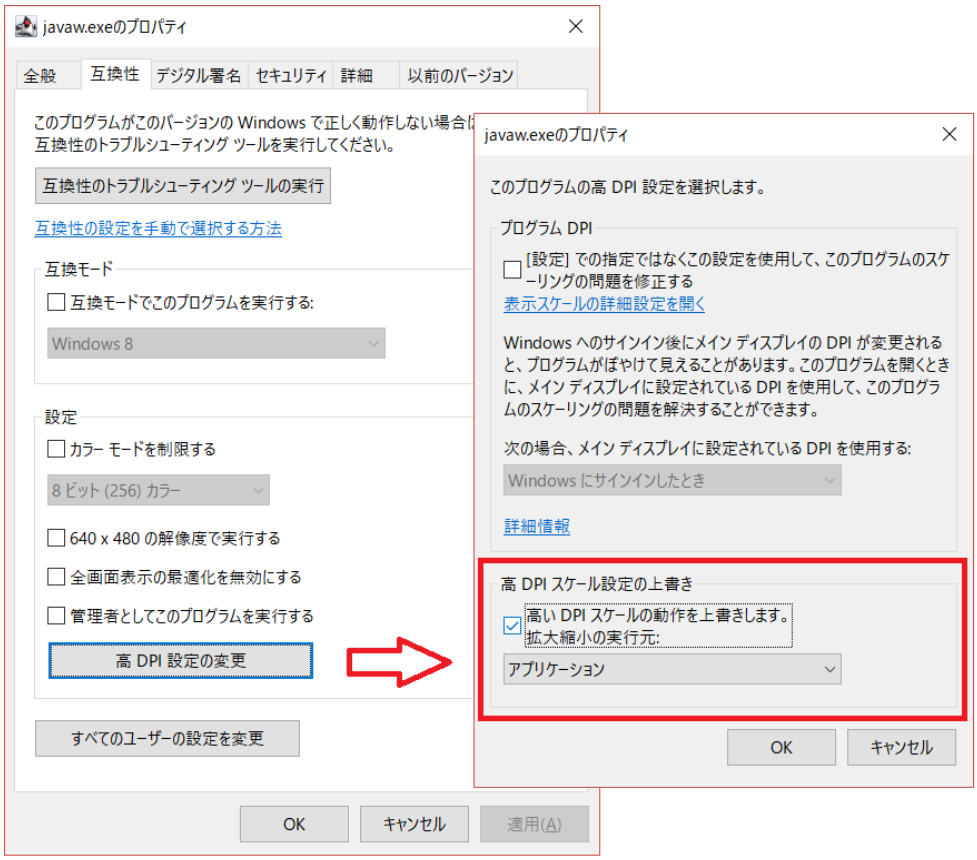


→「javaw.exe のプロパティ」画面が表示されます。

④　「高 DPI 設定の変更画面」を開いて設定

「互換性」タブを選び、「高 DPI 設定の変更」ボタンをクリックして下さい。

表示された画面で、「高 DPI スケール設定の上書き」を設定して下さい。適切な設定は、画面の解像度、Windows 10 の詳細バージョン等により異なりますので、お使いの機種で最適な設定をお探し下さい。



以上

変更履歴

第 1.0 版

- fusion_place 実行環境のバージョンを 0.9.0 から 1.0.0 に変更。
- 「リクエスタに関する移行」で示されている java.exe のパス指定から、fusion_place 実行環境のバージョン番号を除外（バージョンアップの際にパスを変更する必要性をなくすため）。

第 1.1 版

- 「社内ポータルなどからのリンク先 URL の変更」において、1.0.0 に対応するための拡張子が間違っていたため修正。